

日本史B

2023年度共通テスト本試験について

- 大問数は6題、小問数は32問であり、いずれも前回の共通テストと同数でした。
- 提示された文献史料は前回の共通テストと同数の12点で、そのうち2点が現代語訳(大意)でした。前回の共通テストと同様に、出題された文献史料はほとんどの受験生が見慣れないものでした。
- 資・史料の読み取りや選択肢の慎重な吟味を要する問題が散見され、前回の共通テストに引き続き、時間配分に注意を要する負担感が大きい試験でしたが、前回の共通テストと比べると、解答に必要な情報を汲み取りやすい出題が多く、やや取り組みやすくなりました。

過去3回の出題内容

難易度 A:やや易 B:標準 C:やや難

大問	2023年度本試験		2022年度本試験		2021年度本試験第1日程	
	出題内容	難易度	出題内容	難易度	出題内容	難易度
1	地図から考える日本の歴史	B	人名から見た日本の歴史	B	貨幣の歴史	B
2	古代の陰陽道	B	法整備と遣隋使・遣唐使	B	日本における文字使用の歴史	B
3	中世の京都	B	中世の海と人々の関わり	B	中世の都市と地方との関係	B
4	江戸時代における人々の結びつき	B	近世の身分と社会	B	近世社会の儀式・儀礼	B
5	幕末から明治期の日本	B	日本とハワイの歴史	C	景山英子と女性解放運動	B
6	近・現代の「旅」	C	鉄道の歴史	B	農地改革	B

パワーマックスについて

編集方針

- 共通テスト本試験や試行調査を踏まえた形式・難易度のZ会オリジナル模試を5回分収録
- 共通テスト本試験に即して、知識を確認する問題から知識の活用や史・資料の読み取りを求める問題、論理的思考を要する問題まで、様々な観点から知識・理解をはかる問題を各回で出題

書籍の特徴

- 出題形式の変化に対応できるよう、過去2回の試行調査や今回と初回の共通テストの出題形式だけにとらわれず様々な形式の問題を出題しています。
- 文献史料・統計資料・地図・図版など多様な資料の読み取りを必要とする問題を多数出題しています。
- また、受験生にとって初見となる資料を用いた問題を収録しており、資料から得られる情報と知識を結びつけて考察する力を養うことができます。

パワーマックス 日本史B 出題一覧

新:新規収録 / 難易度 A:やや易 B:標準 C:やや難

第1回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	新 都市の発展	10分	B
2	新 古代の国政の運営方法	10分	B
3	新 中世の荘園制	11分	B
4	新 近世の外交	9分	B
5	新 明治期の外交・経済	8分	B
6	新 近・現代の政治・経済	12分	B

第2回				第3回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度	大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	様々な時代区分	9分	B	1	出版と交通の歴史	10分	B
2	古代の仏教文化	10分	B	2	古代の土地制度	9分	B
3	中世の武士団と社会	11分	B	3	中世の東アジア交渉史	10分	B
4	江戸時代の産業	9分	B	4	江戸幕府と天皇	9分	B
5	近代国家の成立と展開	10分	B	5	近代の政治・社会	10分	B
6	昭和期の外交・社会・経済	11分	B	6	近・現代の社会・経済・外交	12分	B

第4回				第5回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度	大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	日本の世界文化遺産	8分	B	1	古代～近世の政治権力 / 近世～近・現代の鉱業	13分	B
2	原始・古代の社会・政治	12分	B	2	古代の社会・外交・政治	13分	C
3	中世の政治・外交	11分	B	3	中世～近世初期の政治・文化	6分	B
4	近世の政治・社会・経済・文化	10分	B	4	近世の政治・社会	12分	B
5	明治期の外交	5分	A	5	近代の金融制度	5分	A
6	大正～昭和期の政治・社会・経済	14分	C	6	近・現代の情報と社会	11分	B



Z会編集部の
イチオシ問題

第3回 p.9

第2回 問2
解答番号8

史料の内容と関連する知識とを結びつけて解く問題。

第1回 p.21

第3回 問4
解答番号15

史料を丁寧に読解し、歴史知識も活用した上で選択肢を吟味する問題。

第3回 p.21

第5回 問3
解答番号25

複数資料から必要な情報を読み取り、知識も活用して解答する問題。